

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 172 1月号

2020年1月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

電子図書館へは、  
右のQRコードから  
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)

播磨科学公園都市圏域  
定住自立圏電子図書館



## 読書と私 No.162

### 「読書の醍醐味」

揖西町 武内 和彦

先般の龍野JC職場等体験実習（インターンシップ）では、生徒共々、揖保川図書館にお世話になりました。たつの市民でありながら、私自身が初めての訪問であり、大変興味深く参加させていただきました。生徒だけでなく、私も読書は大好きなので、さっそく専門書のコーナーに足を運ぶと、化学関係の本がたくさんありました。その中に古川安の『化学者たちの京都学派 喜多源逸と日本の化学』（京都大学学術出版会、2017年）を見つけたときは大変感動しました。この本は2年ほど前に刊行され、その内容を授業で紹介することもありました。特に日本の基幹産業であった繊維産業（絹、レーヨン、ビニロンなどの高分子）について記述されており、国益を守るためにどれほどの化学者が努力を重ねてきたのかがよくわかります。

実は、2019年にノーベル化学賞を受賞された吉野彰氏もこの学派出身で、第1回ノーベル化学賞を受賞された故福井謙一先生のお弟子さんだったそうです。吉野先生の受賞理由はリチウムイオン電池の開発でしたが、大学時代の専門は量子有機化学（理論有機化学）だったそうです。師匠の福井先生から「闇雲に実験してもだめだ。理論的に計算して材料を選択しなければならない」と教わったそうです。量子という用語は一般にはあまり使われない高度な専門用語ですが、量子に関する本も図書館にたくさんありましたので是非読んでみてください。ひょっとすると、たった1冊の本が人生観を変えるかも知れませんよ。私は大学時代に学んだ「シュレディンガーの猫」や「不確定性原理」の衝撃が今でも忘れられません。その経験から、読書による新しい発見を通して、他者の生きざまに感動し、先人たちの努力に思いを馳せることが読書の醍醐味だと思っています。



『化学者たちの京都学派』

古川 安 著

京都大学学術出版会

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『世界お産 生まれやすい国ニッポンへ!』

きくち さかえ 著 二見書房 255ページ 2019年8月刊



お産には1人ひとりにドラマがあるといわれているが、本書は、マタニティヨガの教室を主宰する著者が、1990年代から2000年代にかけて世界15カ国以上を旅して、その土地のお産の

様子取材し、撮影したものである。

産み方や生まれ方は、時代によって、また、その地域の文化や民族の習わしによって異なる。女性の地位の向上に伴ってお産のスタイルも変化してきた。1999年に訪れたミクロネシアではビーチに建てられたヤシの葉で葺いた小屋が産屋だった。お産には産婆が付き添い、ヤシの葉で編まれたムシロの上に赤ちゃんを産むと、産婦は目の前の海に入ってからだを洗い流すのだという。チベットの遊牧民は、「お産は病気じゃない」と口々にいう。病院に産科はなく、産婆もいない。定住しない彼らのもとに産婆が駆

けつけるのは難しく、お産は家族で助け合う。イギリスのロイヤルベビーのように国を挙げて祝福されるお産がある一方で、有刺鉄線で囲まれた難民キャンプでもお産はあり、そこでは付き添いの家族もなく、母子が竹製のベッドに寝かされていた。そして、東日本大震災の日にも赤ちゃんは生まれている。保健師や養護教諭の手を借りて、電気もない部屋でも赤ちゃんは元気に生まれ、その無事出産の知らせに避難所の大勢の人が心から喜んでくれたという。

今この瞬間にもどこかで誰かが生まれ、産声をあげている。そう思うだけで心がちょっとあたたかくなるのは、子どもの誕生がプライベートな領域を超えた、社会的な出来事だからに違いない、と著者は語る。どんな環境でもヒトは生物としての営みを脈々と続けてきたのだと思うと、その命の力強さを実感するとともに、「お産」の社会的な意味に気づかせてくれる好著である。  
(新宮図書館 藤川)

トピックス

※申込、問い合わせは各図書館まで

御津図書館

えほんかるた大会

床いっぱい並べた絵本を取り札にしたかるた大会をします。

【日時】1月11日(土) 14時~14時40分

【場所】御津図書館 2階 多目的室

【対象】4歳から

【定員】10名(先着順・要申込)

【申込】御津図書館(電話可)



<お探しの本が見当たらないときは...>

お気軽に職員までお声掛けください。

市内4館で、所蔵している本が異なります。

市内図書館で所蔵している場合は、取り寄せ

または予約させていただきます。

新宮図書館

おはなしのしかんのあとは  
こどもかるた大会!!

おはなしを聞いた後、かるたをします。

【日時】1月18日(土) 10時15分~(1時間程度)

【場所】新宮公民館 和室

【対象】5歳から小学3年生まで

※園児と小学生は別の組にします。

【申込】新宮図書館(電話可)



揖保川図書館

野鳥教室

野鳥の講座の後、渡り鳥などを観察します。

【講師】圓尾 哲也 氏(西播愛鳥会 会長)

【日時】1月25日(土) 10時~12時

【場所】アクアホール2階会議室3、揖保川せせらぎ公園

【対象】小・中学生、高校生、一般

(小学3年生以下は保護者同伴)

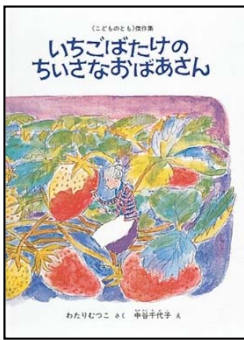
【定員】20名(先着順・要申込)

【持ち物】筆記用具・防寒具(あれば双眼鏡・鳥類図鑑)

【申込】揖保川図書館(電話可) 1月5日(日)から受付。

『いちごばたけのちいさなおばあさん』

わたり むつこ 作 中谷 千代子 絵 福音館書店



いちごばたけの土のなかに、ちいさなおばあさんが住んでいました。おばあさんの仕事は、いちごの実がなると、いちごに赤い色をつけてやることでした。

ある年のこと、春はまだ先だというのに、ぽかぽか暖かい日が続きました。おばあさんが汗をふきふき、階段を100段のぼって地面の上に出てみると、いちごばたけは見渡す限り、青々とした葉を広げていました。

「あかい いろが たっぷりいるわ」おばあさんは慌てて100段の階段をかけおり、せっせと作った「あかいいろ」を、今度ははけに取って、次々といちごを赤く染めてゆきます。大仕事を終え、安心して

眠った次の朝、なんと土の上はあたり一面、まっ白な雪野原になっていました。

「あたしが いろをつけた あかい いちごが なくなっちゃった」おばあさんが泣いていると、とおりがかったうさぎが、おばあさんの足元の雪をかき分けて言いました。「いちごだ、いちごだ！」集まってきた森の仲間たちがいちご掘りをしているのを見て、おばあさんはすっかり安心して、土のなかに帰り、うとうとと眠ってしまいました。

ちいさなおばあさんが一生懸命働いている姿が、素朴で温かい絵で描かれています。いちごを色付けするおばあさんの仕事の不思議さが心に残り、最後にその大仕事が実を結ぶ結末には満足感があります。読んであげるなら4歳くらいから。

(龍野図書館 村上)

『ジェーンはまんなかさん』 エレナー・エスティス 作 渡辺 茂男 訳 岩波書店



モファット家のジェーンは、ママ、お姉さん、お兄さん、弟と5人で暮らしています。

モファットきょうだいは、町の公会堂で行われる劇に出演することになりました。演目は「三びきのクマ」で、

ジェーンはまんなかのクマの役です。ジェーンはママや親友のナンシーが見に来るので、張り切って練習しました。

いよいよ本番当日。なぜか、ジェーンのクマの頭が見当たりません。ジェーンはクマの頭を知らないかと聞いてまわりますが、みんな忙しそうにしている、ジェーンの言うことに耳を貸してくれません。ジェーンは、ママに新しい頭を作ってもらおうか、代わりに竜の頭を被ろうかなどといろいろ考えました。とうとう出番が来てしまい、ジェーンは衣装

の首の部分を頭の上まで引っ張り上げ、安全ピンで留めて、茶色のおばけのような恰好になりました。舞台上になると、「あの子の頭！」という驚いたような叫び声が聞こえました。クマの頭が舞台道具のベッドの支柱に乗っていたのです。そこでジェーンは、セリフを少し変えて「だれかが私の頭を使っていたわ。でも、取り返したわ！」と言い、急いで頭を被りました。

他にも、きょうだいで青いキャラコの袋をママに贈るお話や、100歳になる町一番のお年寄りであるバックルさんの誕生日のお祝いをするお話などがあります。

何事にも一生懸命なジェーンとその家族や友だちのお話は、ハラハラしつつもユーモアに満ちています。「モファットきょうだい」シリーズの2巻目。小学5年生くらいから。

(新宮図書館 山崎)



# 1月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

※新宮図書館は新宮公民館で実施します。

**龍野図書館** 【対象】1～3歳児、保護者

18日(土)  
11時～11時20分  
『ころころころ』他

**揖保川図書館**

【対象】1～2歳児、保護者

16日(木) 10時30分～10時45分  
『ちゅうちゅう ちゅちゅちゅ』他

【対象】3～4歳児、保護者

11日(土)・18日(土) 10時30分～10時50分  
『ねずみのいえさがし』他

**新宮図書館** 【対象】2～4歳児、保護者

12日(日)・26日(日)  
11時～11時20分  
『おおきなかぶ』他

**御津図書館**

【対象】1～4歳児、保護者

12日(日)・19日(日) 11時～11時20分  
『ゆきのひのポンテ』他

【対象】5歳児～

12日(日)・19日(日) 11時30分～11時50分  
『うまかたやまんば』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

**新宮図書館**

11日(土)・18日(土) 10時15分～11時30分  
「ねずみじょうど」他  
(18日は、おはなしの後にかかるた大会があります。P2参照)

**揖保川図書館**

11日(土)・18日(土)  
11時～11時30分  
「ついでにペロリ」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

**龍野図書館**

10日(金)  
10時～11時30分  
総会  
(年間計画作成)

**揖保川図書館**

17日(金)  
10時～12時  
『昭和の犬』  
姫野 カオルコ 著

**御津図書館**

15日(水)  
13時30分～15時30分  
「柘榴坂の仇討」(『五郎治殿御始末』より) 浅田 次郎 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

**龍野図書館**

9日(木) 10時～11時30分  
『だいりき  
『大力のワーニャ』 オトフリート・プロイスラー 著



館内特集・展示 (一部紹介)

**龍野図書館**

## 新しいことに チャレンジ!

今年こそ挑戦したい趣味、習慣、習いごと…。新しい年の初めに、まずは本を読むところから始めてみませんか。気軽に読める入門書を集めています。

【期間】1月30日まで

**新宮図書館**

## 大河ドラマの原作

今月から明智光秀の生涯を描いたドラマが始まります。明智光秀に関する本や過去の大河ドラマの原作を集めています。

【期間】1月30日まで

「はじめての〇〇」「〇〇入門」  
で、始めてみよう!

「はじめての」や「入門」がタイトルに入った本を集め、新年の挑戦を応援します。

【期間】1月20日まで

**揖保川図書館**

## 医者が書いた小説

意外かもしれませんが、実は世の中には医者が書いた小説もあります。医療経験から創作した物語、サスペンスなど内容もさまざまです。命と向き合う仕事をする医者が書いた小説を読んでみませんか?

【期間】1月30日まで

**御津図書館**

もっと

## 時間の達人になろう

新しい年が始まりました。歳をとるにつれて早く過ぎると感じる時間ですが、誰にも平等に(今年は)366日あります。8,784時間を時間の達人のあなたはどう使いますか?

【期間】2月28日まで